# 150SAPM2：差圧式レジスター（丸型・プッシュタイプ）
# 150SAPK2：差圧式レジスター（角型・プッシュタイプ）

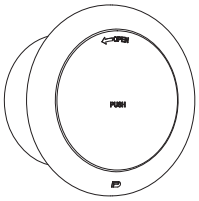
## 取扱説明書

このたびは、差圧式レジスター（プッシュタイプ）をご購入いただきありがとうございました。
正しくお取扱いいただくため、ご使用の前にこの説明書をよくお読みください。
またご使用になる方がいつでもご覧になれるように必ず保管してください。

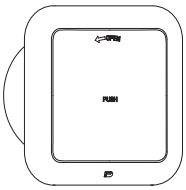
1. 製品規格　■ 材質　本体：ABS樹脂　フタ：ステンレス（SUS304）　フィルター：ポリエステル（厚8.5mm・13mm）
可動部品：ポリアセタール樹脂

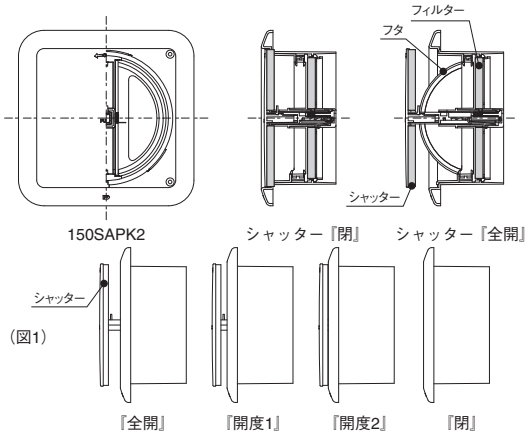
2. 製品形状

差圧式レジスター（丸型）




差圧式レジスター（角型）




（図1）

3. 製品概要

- 差圧式レジスターは室内側のダクトの端末に取付け換気を行うためのものです。
- 差圧式レジスターは換気扇作動時など室内外に圧力差が生じた時、筒内部のフタが自動的に開き給気を行います。
  ただし、窓や扉が開いていると筒内部のフタが開かない事もありますが、故障ではありません。
- シャッターが開閉し換気量の調節ができます。
- シャッターは、『全開・開度1・開度2・閉』の4段階に作動します。通常は『全開』にしてご使用ください。（図1参照）
  風雨の強い時は、シャッターを『閉』にしてください。（雨水が浸入して壁などを汚す事があります。）
- フィルター付で花粉やほこりなどの侵入を減少させます。
- 本製品はシャッター・操作部が脱着可能です。フィルター・換気口内部の清掃、お手入れができます。

### ⚠注意

⚠ 注意　この表示は取扱いを誤ると『障害』または『物的障害』を負う可能性が想定される内容です。

| ⃠ この表示は行為の『禁止』を示します。 | ❗ この表示は行為の『強制』を示します。 |
|---|---|

⃠ 住宅用換気口部品以外の用途には使用しないでください。

⃠ 製品に物を吊下げたり、手や足を掛けないでください。
物を吊下げたり、手や足を掛けたりすると、製品が破損・変形したり、落下により
思わぬケガをするおそれがありますので絶対におやめください。特にお子様には十分注意してください。

⃠ 周囲に障害物を置かないでください。
障害物があると、換気量が不足したり、お手入れができなくなるおそれがありますので絶対におやめください。

❗ 定期的にお手入れをしてください。
製品を安全かつ有効にご使用いただくために定期的にお手入れを行ってください。
フィルターや可動部品にゴミ・ほこりなどが付着したままになりますと、換気量の低下・作動不良・異音発生の原因になります。

❗ お手入れの際は、手袋を着用してください。
角部でケガをする事がありますので、決して素手では行わず手袋を着用してください。

❗ シャッター操作・お手入れをする際は、換気設備を停止してください。
換気扇などの換気設備が作動していると、操作不良・故障・破損の原因になります。

❗ 通常はシャッターを『開』にしてください。
換気量不足の原因になります。台風時・強風雨時など雨水の浸入がある場合は、壁などが汚れるおそれがありますので
シャッターを『閉』にしてください。その後は必ずシャッターを『開』にしてください。

ー 操作方法・お手入方法は裏面をご覧ください ー

大建プラスチックス株式会社
http://www.daikenplastics.co.jp

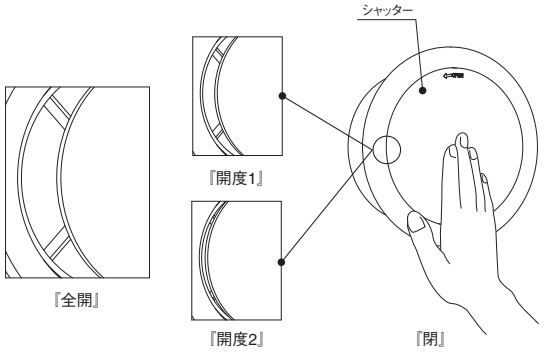
本　社 / 〒577-0805 大阪府東大阪市宝持４丁目２番２１号
TEL：06-6724-0331（代表）FAX：06-6724-0341
E-mail：osaka@daikenplastics.co.jp
東京支店 / 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町３丁目６番４号 BECビル5F
TEL：03-3877-7415（代表）FAX：03-3877-7537
E-mail：tokyo@daikenplastics.co.jp

A14112519C

## 操作方法

- 本製品はシャッター中央の『PUSH』表示部を『カチッ』と音がするまで押すとシャッターが作動し、換気量の調節ができます。
- シャッターは『閉』状態から強く押して『全開』→軽く押して『開度1』→『開度2』→強く押して『閉』の順に作動します。

❗ 通常はシャッターを『開』にしてご使用ください。
シャッターを『閉』の状態で機械換気を使用すると室内外に気圧差が生じ音が発生する事があります。




**⚠ 注意**

- シャッターの開閉作動をする時は、換気扇などを止め、筒内部のフタが閉じていることを確認してから行ってください。筒内部のフタが開いている時にシャッターの開閉作動を無理に行うと、製品が破損・変形したりするおそれがあります。
- シャッターを閉じた状態でも完全に密閉するものではありません。
- 強いビル風などの発生する条件下では風切音が発生する事があります。

## お手入方法

### 製品のお手入れ

- 少し水でぬらした柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を布に含ませて拭いてください。洗剤使用後は洗剤が残らないよう必ず水拭きしてください。
- 室内外の環境条件により製品及び周囲に結露が発生する場合があります。結露が発生した場合は布などで水分を拭取ってください。

⃠ 製品をお手入れする際、化学薬品(シンナー・ベンジン・アルコールなど)やクレンザー・タワシなどは使用しないでください。
キズ・変色・樹脂部分の破損などの原因になります。

### フィルターのお手入れ

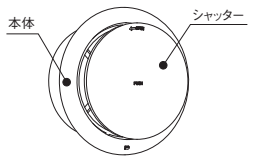
- 軽く手でたたくか、または掃除機でほこりを吸取ってください。
汚れがひどい場合は、水または、ぬるま湯に中性洗剤を混ぜて押洗いをし、よく乾かしてください。

⃠ 熱湯につけたり、もみ洗いをすると性能が保てませんのでおやめください。
❗ フィルターは、水洗い5・6回を目安に新品と交換してください。
※ 交換用のフィルターは当社でご用意しております。下記へお問合せください。

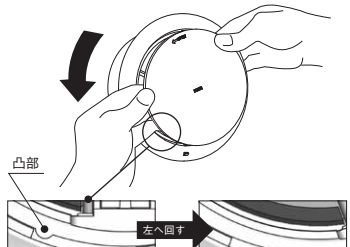
## 取外方法

### 操作部の取外方法

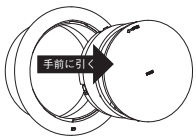
1. シャッターを『全開』にしてください。



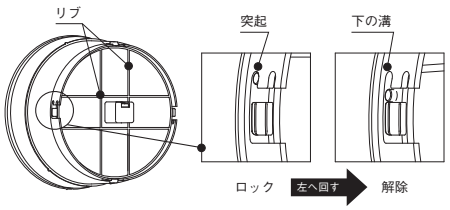
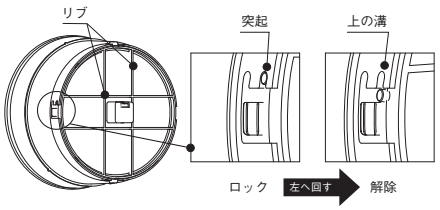
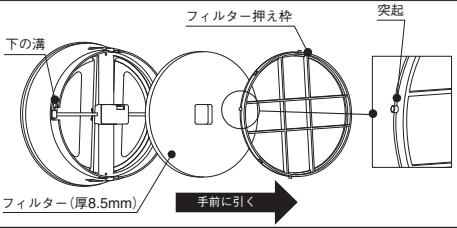
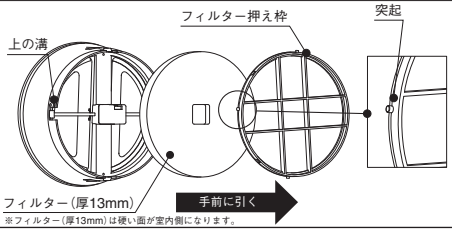

2. 両手でシャッターを持ち左側へ回してください。




3. 手前に引いて取外してください。




### フィルターの取外方法

| フィルター厚8.5mmの場合 | フィルター厚13mmの場合 |
|---|---|
| 1.フィルター押え枠のリブを手で押え左へ回します。 | |
|  |  |
| 2.フィルター押え枠を手前に引いてフィルターを取外してください。 | |
|  |  |



※フィルター(厚13mm)は硬い面が室内側になります。

※取付けの際、フィルター押え枠の表裏にご注意ください。(突起がフィルター側にあること)
また、フィルター押え枠が、各フィルターの溝位置に確実にロックされている事をご確認ください。(参照：上記1)
※取付完了後、筒本体から操作部が抜け落ちないか、シャッターを軽く手前に引いてご確認ください。

※フィルター厚は、フィルターの押え枠の取付状態で確認できます。

**⚠ 注意** フィルター清掃・交換の際は、押え枠の取外しのみ行い、他の部分は、取外さないでください。
シャッター・操作部の故障の原因となります。

## 交換用フィルターについて

**⚠ 注意**

本製品の交換用フィルターには厚みが2種類ございます。お取替前にフィルターをご確認の上、必ず同じ厚みのものをご購入ください。また当社以外のフィルターは使用しないでください。
使用された場合、機能・性能の低下、本体の故障を招く事があります。類似品にはご注意ください。
《フィルターの厚みで通気量・相当開口面積が変わりますので十分ご注意ください。》

■ご注文方法：ONLINE SHOP http: //www.daikenplastics.co.jp/shop.html
MOBILE SHOP http: //www.daikenplastics.co.jp/mobileshop.html
FAX 06-6724-0341
詳しくはホームページをご参照ください。 http: //www.daikenplastics.co.jp

MOBILE SHOPは こちら→